

# 地域活動

## Q&A

地域活動の中でのお悩みや相談事について、ちよつとヒントになりそうなことを挙げてみます。「うちの地域ではこうやってるよ」というアイデアがありましたら、ぜひ「まちむら」にお寄せください。

### ■助成金の申請について

**Q** 助成金の申請をしようと思っております。その際に気をつけるべきことはありますか。

**A** 助成金の申請において、気を付けておくべきことは、主に2点あります。

一つ目は、申請する活動内容と助成団体が提示している助成内容とが合致しているかの確認です。申請する内容が社会的な意義の十分ある内容だとしても、助成団体が提示する

内容と合致していなくては、審査の過程には進めません。ですので、助成団体が提示している助成内容については十分に把握する必要があります。

二つ目は、具体的に書くことです。申請書類の中には、助成内容が詳細に書かれておらず、活動への熱意が中心に書かれているものもあります。もちろん、活動の熱意は重要であり、それが活動の原点ですので、大切にしたいです。ただ、それが中心とならずにすぎると、「この活動費用はなぜ必要なのか」や、必要な費用が具体的に書かれていないと、その熱意のある活動への助成が難しくなる恐れがあります。

ですので、この助成金は具体的に何に使うか、なぜ必要なのかを詳細に書くと、審査をする側の理解が進むと思われま。

もちろん、これ以外にも助成申請に注意するべきことはありますが、最低限、これを押さえていけば、審査に通りやすくなるのではないかと思います。

### ■コロナ禍での地域活動

**Q** コロナ禍でも活動がしやすいような地域活動はありますか。

**A** コロナ禍によって、地域の活動、主に対

面での活動が難しくなりました。ただ、最近では対面での活動が増えてきましたが、心配はつきものです。そんな中でも地域に貢献できて、比較的活動しやすいものとして、フードドライブが挙げられます。

フードドライブは、主に公民館などを開催場所とし、地域の方々に、未使用で未開封の食料品を持ち寄ってもらい、それらを地域の福祉団体や子ども食堂などに寄付をする活動です。

フードドライブを行うにあたって重要なのは、活動の周知になります。せっかく場所を決め、活動を始めても、活動を周知していなければ食料品は集まりません。ですので、多くの方の協力が必要です。

そのために、①行政などをお願いし、自治会や町内会などにフードドライブ実施のチラシを配布してもらう。②農家をお願いし、商品にならないが食べられる農作物を譲ってもらう。③企業などをお願いし、期限の近くなつた災害備蓄用の食料品を提供してもらう。といった方法で、告知を行ない、余っている食料品の寄付をお願いします。

コロナ禍でも比較的活動しやすいフードドライブは、食品ロス問題の解決にも貢献できる取り組みです。開催してみたいかががでしょうか。